



# 木の花をさがそう!

はれ  
5/22(日)実施しました

## 報告書



たんけん隊長  
はんだくみこ  
半田久美子 研究員

小さなつぼみも見逃さないようによくさがしましょう!



たんけん隊長の半田久美子研究員と博物館の外に出て、木に咲く花をさがしました。



「あっ!なにかついている!」  
「サクラの花が散ったあとに、サクランボができてますね〜」



館内のオープン・ラボに戻って、観察しました。

顕微鏡を使って、大きく拡大して見ました。



「それでは、花と花ではないものをそれぞれ別のテーブルに分けてみましょう!」



### ヤマボウシ

花びらのように見えていた白い部分は、苞(ほう)と言い、花を目立たせるための工夫です。



これがヤマボウシの花の集まりです。



つぼみに十の形の割れ目が開いて花がさきます。



### クリ



一本がひとつの花のように見えますが、大きくして見ると小さな花の集まりであるのがよくわかります。



クリの雌花

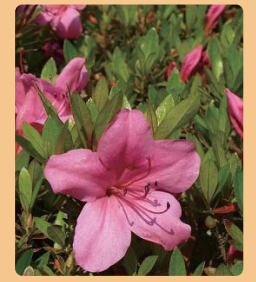


クリの雄花

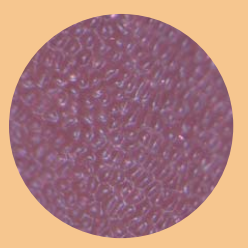


電子顕微鏡

### ツツジ



花びらの表面を拡大すると!



ヤマボウシ、クリ、ツツジ(オオムラサキ)、ザクロ、イヌツゲ、ヤブツツジ、トベラ、シャリンバイ、イロハモミジ、オオバボダイジュ、シナノキ、コナラなどを採取し、顕微鏡で観察しました。

ドングリやクリなど実をつける木には必ず花が咲きます。普段は見過ごしてなかなか気が付きにくいのですが、木をよく見てみると花が咲いていることがわかりました。

フロアスタッフ担当：寺尾・石倉

